

■ 特集 2



F D C 平成 1 8 年度事業計画決まる

3つのP、2つのAを柱に

(財)一宮地場産業ファッションデザインセンター(FDC)は2月21日、理事会を開いて平成18年度事業計画を決めた。繊維産業支援事業(ファッション産業支援事業)を推進するPRODUCT(つくる)、PROMOTION(普及する)、PERSON(育てる)の3つのP、地場産業発掘・地域交流事業(地域事業おこし)を促進するAPPEAL(アピールする)、AMUSE(楽しませる)の2つのAを骨子としたもので、この中では新規事業として定年後の団塊世代を意識したメンズカジュアル素材の開発など含まれている。

新たに団塊世代対象にニューカジュアル提案

PRODUCTでは「売れるものづくり」をコンセプトに新商品開発を強力に進める。その方向は 尾張繊維技術センターとの共同開発 FDC匠ネットワーク FDCテキスタイルプランナー協議会などのタイアップ、プロジェクトに加えて、ジャパン・ヤ



繊維産業製造中核人材育成セミナー

ーン・フェアの開催により尾州産地素材の多様化、高付加価値化に努める。ジャパン・ヤーン・フェアはわが国唯一の総合系見本市として今期は4回目の開催となる。

PROMOTIONでは「ビジネスチャンスの創出」をキーワードに 東京展の開催(2007年春夏、2007/08年秋冬、産地個展) ユーロ・テキスタイル・セレクションの開催 尾州トータルイメージアップ活動の展開(JB=ジョイント・尾州ブランド

戦略会議、広報活動事業、WEBマガジン「T&F」発行) 情報提供事業の再構築(ファッション情報収集・提供事業、内外ファッション資料提供、ファッション・テクノ工房)を推進する。

PERSONは「マーケット養成」をポイントに 繊維産業製造中核人材育成プロジェクト 各種セミナー開催事業 新しい型の繊維産業構築支援事業を推進する。

APPEALでは「地域の魅力発掘」を柱に 地場製品の即売事業 地場製品の常設展示を行う。

AMUSEでは「地域住民とのふれあい」を核に地域交流事業(手染め教室、手織教室、おやこふれあい教室)を展開する。

おやこふれあい教室(手織)



ヤーントレンドセミナーも開催

こうした基本方針の中で、特に18年度新規に展開する大きな事業は3つ。

第1は「PERSON」で展開するJB(ジョイント・尾州)メンズプロジェクトだ。メンズテキスタイルプランナーを対象に、コーディネーターの指揮の下、ヨーロッパの最新トレンド情報をテキスタイルに具現化する手法を学び、新たなメンズカジュアルの開発支援に取り組む。

この背景は多数の団塊世代が定年を迎える時期に当たって、ファッショナブルな感性をもつ彼らに「ニューカジュアル」を提案し、産地の需要増進に役立てようというわけ。

第2は同じ「PERSON」に属する事業で、ヤーントレンドセミナーを開催する。産地が糸からの差別化を進めるにあたって、糸のトレンド情報を提供することにより新商品開発を支援する。またこのトレンドを反映して開発された糸の展示会JY(ジャパン・ヤーン・フェア)を、新商品開発支援事業として開催する。

第3回ジャパン・ヤーン・フェア



アパレル段階では商品の均一化、同質化を避けるため、素材

からの差別化に活発に取り組んでいるが、その素材の決め手の大きな部分は糸であり、この事業で新差別化素材づくりの支援を行う。

第3は「PROMOTION」の一貫として取り組むJBブランドの深耕作戦である。繊維国際見本市であるJC(ジャパン・クリエーション)が年2回の開催に移行するに伴い、JBブランドの認知度を高め、意欲的な商談を目的に出展する。海外についても積極的な取り組みを行う。

18年度事業の事業マップは下記の通りであるが、FDCは18年度、新規事業を含めてビジネスに役立つ様々な事業を展開する。

